



つながるために、まず外へ

シップヘルスケアフード株式会社 グリーンファーム千里中央

基本情報

- 所在地 豊中市
- 指定年月日 令和3年10月1日
- 利用者数 29名(R6.10.31現在)
- 職員数 6名(R6.10.31現在)
- 利用者の主たる障がい種別 精神障がい、知的障がい、身体障がい

■ 一般就労実績	R3	R4	R5
	0名	0名	3名

グリーンファーム千里中央は、レタス等の水耕栽培、コーヒー豆の選別、焙煎、封入、シール貼り等の軽作業を行っている事業所です。福祉未経験の職員が多いことを逆に強みとして、柔軟な発想で様々な分野と繋がることで販路拡大、工賃向上、一般就労者の輩出に成功しています。



水耕栽培の様子

野菜の出荷準備の様子

工賃向上の取組み

地域とつながり、経営×福祉を改善

コロナ禍にレストラン業から福祉事業所に新規参入し、水耕栽培の設備を導入したものの、設立当初は、売先がなく、売上げが上がらず、利用者も増えずで経営に苦戦していました。そこで自ら様々な分野に積極的に情報収集、営業活動を行いました。

情報収集する中で、行政主催の障がい者啓発活動に関わることができ、啓発イベントの運営をする中で他事業所とのつながりが生まれ、カフェを運営する事業所からサラダの野菜を定期購入してもらうなど新たな受注が発生しました。また、近隣施設で実施している朝市に参加をするなど地域のイベントに参加することで販売機会を創出しています。イベントなどで商品を購入した個人のお客さんが来所してリピート購入してくださるようにもなりました。その後、法人グループのカフェへの納品や出張販売なども行うようになり、水耕栽培は今ではフル稼働しています。

地域の相談支援機関などに接点を持って事業所の支援方針などを説明するように心がけ、工賃アップのおかげもあって、事業所の認知度も上がり利用者も増えました。

野菜やコーヒーの販売は、利用者が接客するようにしています。自分が作った商品を手で販売する喜びは、利用者のモチベーション向上にも役立っています。



工賃向上の取組み

他事業所とのコラボ商品の開発

コーヒー豆の選別・焙煎・販売も行っています。つながりができた他事業所に呼びかけ、クッキーとのセット販売をしたところ、人気商品となり売り上げが伸び、大幅な工賃向上に貢献しました。

他事業所と連携することで、支援学校での定期的な出張販売を実現するなど、新たな販売先の情報等を得ることもつながりました。



コーヒーとクッキーのセット

工賃向上の取組み

積極的な営業、高単価の内職探し

水耕栽培やコーヒー製造の隙間時間に軽作業も行っています。インターネットで内職作業の委託先を募集している事業者を探し出し、まずは電話でアポイントを取り、話を聞いてもらう場をセッティングしてもらうようにしています。

就労継続支援B型事業所を知らない企業であっても、担当者間で信頼を得ることができれば、内職作業の受注につながります。初めは仕事を受注できなくても、一度会っていることで次の機会に作業を受注できることもあります。



タオルにのし紙を付けていく作業の様子



100円商品の袋詰め作業の様子

就労支援の取組み

利用者の希望を第一に

入所時の面談で就職を希望する利用者には、日々の作業で「社会に出て働くということ」を意識してもらうように伴走支援を行っています。軽作業や接客やリーダー役など、適性を探しながら試してもらい、支援者が「できない」と決め込んでしまわずに、「まずはやってみる」の姿勢を大切にしています。

福祉未経験の支援員も多いのですが、雑談を交えた一方通行でないケース検討や意見交換を行うことで、支援員の就労支援力向上にも努めています。相談支援事業所など他の支援機関との情報交換も支援に役立っています。

事業所自ら積極的にアプローチし、支援方針などの思いを伝え、信頼関係を築くことで、行政や地域イベント、支援学校などの地域資源や様々な業種の企業と連携し、販路拡大、情報収集に努め、大幅な工賃向上を達成できました。

実は、当初は事業所の経営を軌道に乗せたい法人側と、福祉経験者の現場管理側とで、意見が合わないこともありましたが、双方が経営と福祉の両立を理解しあい、改善と協力を積み重ね、今の高工賃を達成できました。